小学校第五学年　国語　「スピーチをしよう」

○ 正答例

一（1）　**【谷藤さんのメモ】**　　**【ポスター】**

ア

メス　生後２～３か月ほど

・生後２～３か月ほどのメスです

【谷藤さんのメモ】　　**【ポスター】**

イ

家族にかわいがってもらえるか

家族にネコアレルギーやネコ嫌いの人はいないか。

（どちらでも正答です。）

・家族でかわいがって下さる方

（2）

もし、飼えないようでしたら、家の方の知り合いや親せきにも、ネコを飼える人がいないか聞いてもらえないでしょうか。

など

○ **この問題で身につけてほしい力**

○資料をもとに、スピーチの内容を考える力。

○ **考え方**

一（1）　谷藤さんは、メモの内容をもとに、ポスターを書き、スピーチを行っています。

メモとポスター、そしてスピーチ原稿を比べていくと、内容のつながりがたくさんあることに気づくことでしょう。

同時に、メモにあったのに省略された情報があることにも気づくでしょう。これは、聞き手にとって必要ではないと判断したのです。

聞き手のことを考え、情報を整理することで、より相手に伝わるスピーチを行うことができます。

（2）　谷藤さんは、この子ねこのことを、どうにか助けてあげたいと考えています。

スピーチの目的は、「子ねこの飼い主をさがすこと」です。

このスピーチは、およそ次のような組み立てになっています。

・ねこの写真を示して、聞き手の興味を引く。
・かわいそうなねこであるという事実を伝える。
・子ねこを飼って下さいとアピールする。
・子ねこの健康状態を伝える。
・子ねこの飼育の様子を伝える。
・子ねこの性格を伝える。
・子ねこを飼って下さいとアピールする。

アピールが二回あります。

聞き手に確実に伝えたい内容だからです。

しかし、スピーチの目的がかなえられるようにするためには、原稿のままでは不十分です。スピーチを聞いた友だちが、だれ一人飼えなければ、話がそこで終わってしまうからです。

そこで、「友だちの知り合いにきいてもらう」というメモの内容をもとに、飼い主をさがしてもうらうようお願いする言葉をつけ加えます。

探すはんいが広がれば、スピーチの目的がかなえられる可能性は高くなります。

このように、スピーチをするときには、目的に合わせて必要な情報を盛りこんでいくことも必要なのです。